

# オレンジ通信 Vol.⑤

## 佐々木まゆみ市議会活動レポート

2013年11月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ

仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp

## 「心の復興」はこれから！ これからも市民の皆様へ寄り添って、 働いて参ります。

本年もあと1ヶ月を残すばかりとなりました。  
東北楽天ゴールデンイーグルスが日本一になり、仙台が宮城が  
東北が一丸となって喜びを味わった今年の秋でした。

その一方、仮設住宅に住まわれている方は3度目の冬を迎えます。楽天の優勝が、少しでも皆さんの励みになって頂ければと、思いを抱いたのは私だけではないと思います。1ヶ月に及ぶ第3回定例会も10月4日に終了、復興にむけての様々な要望、意見等が交わされました。ハード面では着々と建造物が出来上がってきていますが、本当の「心の復興」はこれからです。

仮設住宅に入居された時は、今の生活をどうするかで精一杯と言っていた方々の中には、2年半が過ぎた今、これから先の生活に不安を抱いておられる方がたくさんいらっしゃいます。皆様の不安を取り除いていくことが一番の復興と考えます。

また、この9月より健康福祉常任委員会の副委員長に就任しました。「健康福祉局」「子供未来局」「市立病院」の所管に属する事務に関し調査し、議案・請願等を審査する委員会です。市民の皆様へ寄り添った委員会運営を心がけていきたいと思っています。

佐々木まゆみ



### 新市立病院建設現場を視察 (10月18日)

太白区あすと長町に建設中の新市立病院を視察。災害拠点病院として、大規模災害時にも支障なく医療活動ができるよう、建物を免震構造にするとともに、新たに屋上にヘリポートを設置するなど、診療・救護活動が十分に行える機能を確認。

資材不足等により工期が遅れていますが、平成26年度中の開院を目指しています。

#### ●佐々木まゆみ プロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選（宮城野選挙区）。

【仙台市議会】健康福祉常任委員会副委員長。エネルギー政策調査特別委員。広報委員。【公明党】宮城野西支部支部長。

# 市営住宅のより良い活用！ 児童・生徒の健やかな成



## 高齢者・ひとり親・障害者世帯等の方が入居しやすい市営住宅の運営を！

**【佐々木まゆみ議員】**幸町高層棟の戻り移転後に発生する、鶴ヶ谷第二市営住宅の空き家の活用拡充はどうなっているのか。

**【市営住宅課長】**幸町高層棟については、現在復旧工事の為、入居者の皆様には鶴ヶ谷第二市営住宅に一時移転して頂いている。来年5月頃には再建後の幸町高層棟にお戻り頂けるので、その後の空き室については、できる限り早期に修繕工事を行い、募集に回していきたい。

**【佐々木まゆみ議員】**市営住宅団地と周辺町内会を含めた連携協力の考え方について。

**【公共建築部長】**町内会は、コミュニティ、そして地域における共助の中心的な役割を担っており、既存の団地町内会の機能強化に向けて、例えば、新規入居者の方には町内会に参加頂き、コミュニティの新たな担い手となって頂くような取り組みが必要であると考えている。

一方、高齢化率が40%を超える市営住宅団地が幾つかあり、そうした団地では、入居者だけでコミュニティを支えることは難しくなっている。このため周辺住民との方々と緩やかにつながり、協力していける

ような関係を主体的に作って頂くことが重要であると考える。

**【佐々木まゆみ議員】**平成24年度決算における市営住宅の家賃滞納額と調停額に対するその割合はどうなっているのか。また24年度決算における滞納繰越額を伺う。

**【市営住宅課長】**平成24年度決算における市営住宅の家賃滞納額は、2億4,831万円余であり、調停額17億8,927万円余に対し、13.9%となっている。また、不能欠損処理後の滞納繰越額は、2億1,824万円余となっている。

**【佐々木まゆみ議員】**以前同僚議員が質問した折り、「3ヶ月未満の滞納の段階で納入指導を行うなど、長期滞納の防止に努めると共に、連帯保証人への働きかけも強化している」との答弁があったが、その後の滞納防止策はどう改善されたのか。

**【市営住宅課長】**滞納の早期解決を図るため、1ヶ月以上滞納した入居者に対しては毎月督促状を郵送している他、夜間や日曜を含めて電話や直接訪問して納入指導を行っている。また、滞納が3ヶ月以上になった場合には、保証人に対し納付の協力依頼を送付している。

**【佐々木まゆみ議員】**滞納者への対応は適切・厳格に、その上で、生活困窮者への対応は、的確に相談できる本市の窓口につないでいくべき。家賃の相談窓口の役割を担うべきと考えるがどうか。

**【市営住宅課長】**これまでも建設公社において、家賃の支払いを含めて様々な生活相談をお受けしてきたところですが、今後ともよりきめ細かく世帯の状況を勘案しながら適切に対応していきたい。

**【佐々木まゆみ議員】**平成24年度市営住宅の団地数29団地、管理戸数8,780戸、入居者数16,479人と伺った。定期募集と別枠募集のそれぞれの募集数と、

# 成長をめざす!

申し込み倍率、また募集の倍率が高い所の数値と平均の倍率はどうなっているか。

**【市営住宅課長】**市営住宅の募集については、年4回の募集において、合計で204戸の募集に対し、3,299世帯の申し込みがあり、平均倍率は約16倍となっている。

また、母子父子世帯及び子育て世帯を対象とした別枠募集においては、合計で51戸の募集に対し248世帯の申し込みがあり、平均倍率は約5倍となっている。定期、年4回の募集によって若干倍率は違ってくるが、平均では約16倍となっている。

**【佐々木まゆみ議員】**高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯が今後増加すると考えられるが、市営住宅の決定方法についてどうなっているか。

**【市営住宅課長】**現在、そのような世帯に対し、抽選玉を一つ増やす優遇措置を行っているが、なかなか当選されない方もいらっしゃる。そのため、より住宅に困窮している方が入居しやすいような決定方法のあり方について検討を開始した。

来年度中には「市営住宅の整備及び管理の基本方針」において、方針を取りまとめて参りたい。

## 朝食を食べ、健やかな児童生徒の育成を

**【佐々木まゆみ議員】**「健やかな体の育成プラン」の1年間の取り組みはどうだったか。

**【健康教育課長】**平成24年3月に、「学校体育」「学校保健」「食育」の3分野の総合的かつ体系的な取り組みを推進する「健やかな体の育成プラン」を策定した。校長会での説明や、教職員への啓発チラシの配布、研修会の開催などを行ってきた。

また、田子小学校など健康教育推進校3校において「しっかり食べて、たっぷり運動し、ぐっすり眠る」を

テーマとした実践・研究を進め、その成果の普及を図ってきた。

**【佐々木まゆみ議員】**朝食を毎日食べる児童生徒を増加させる取り組みについて、どのような結果が出ているのか。

**【健康教育課長】**児童生徒に対しては、朝食の大切さも含めて、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の定着を指導しているが、朝食を毎日食べる児童生徒を増加させるためには、家庭の理解と協力が不可欠である。そのため、学校においては、給食だより等を通じ家庭への啓発に努めている他、家庭科の授業において、児童生徒自らが朝食を作る事を学習したり、PTAや地域と連携しながら、朝食を毎日食べる児童生徒の増加に取り組んでいるところである。

また、教育局としても保護者を対象とする健康教育研修会等の機会を通じ、朝食の意義についての理解の促進に努めている。今後もこうした取り組みを継続し、朝食を毎日食べる児童生徒の増加を図って参りたい。

**【佐々木まゆみ議員】**健康観察や健康相談の取り組みについてはどのように推進されているのか。

**【健康教育課長】**学校現場においては、子供たちの心身の健康に関する教職員の意識や資質・技能を高め、効果的な健康観察や健康相談を進めていくことが重要であると認識している。これまでも新任教員や養護教諭を対象とした健康相談や健康観察に関する研修を行ってきたが、今後も、今日的な課題をテーマにした研修会の開催や、学校医等との連携を通して、健康観察や健康相談の更なる充実に努めて参りたい。



### 仙台市南蒲生浄化センターを視察 (9月30日)



仙台市内から発生する汚水の約7割の処理を担う下水処理場の南蒲生浄化センター。震災で甚大な被害を受けました。平成27年度末の完成を目途に復旧工事を行っております。

### 仙台市老人クラブ体育祭へ (10月11日)



老人クラブは地域の担い手です。健康維持を図り、互いに励まし合い、スポーツを通しての、はつらつとした姿に感動し、元気を頂きました。

### 「空き家条例」のパブリックコメントへ

(10月15日)



空き家もたらす様々な課題を話し合う、市議会の「空き家対策条例検討会議」が、広く市民の方に意見・情報・改善案などを求める会議を開催し約70名の方に参加を頂きました。

### みやぎの区民まつりへ (10月20日)

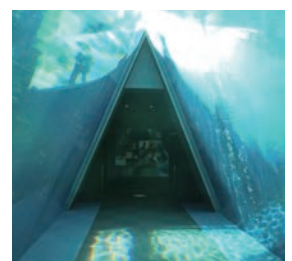
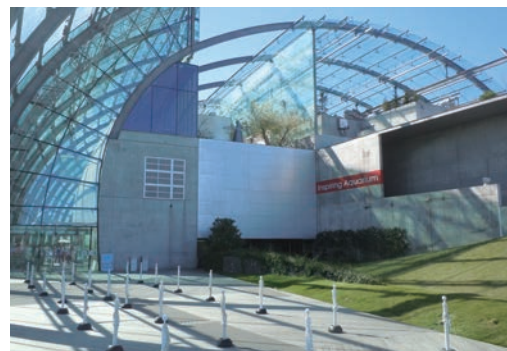


新鮮な野菜を求め、買い物を楽しむ方や、出店や屋台でお腹一杯にされている方など、雨の中にも関わらず大勢の方々が集まって来ました。

### 福島県を視察 (10月16・17日)

浪江町、大熊町へ赴きました。2011年3月11日のままの姿を目の当たりにし驚きは隠せませんでした。2mにもなるすすきやガードレールに絡まっている草木、倒れたままの自動販売機、点滅状態の信号機など、時が止まっている怖さを身近に感じました。「福島復興なくして東北復興なし」との思いを改めて心に刻みました。

翌日は、アクアマリンふくしまへ。平日にも関わらず、幼稚園児、小学生はじめ、たくさんの方々が来館しておりました。仙台でも平成27年春に高砂中央公園内に水族館がオープンします。東北最大規模となる予定です。

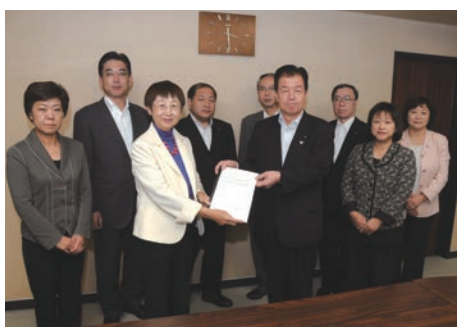


封鎖された浪江町、大熊町



アクアマリンふくしま

### 平成26年度の予算要望を提出 (10月28日)



公明党市議団として、約400項目に及ぶ来年度の予算要望を、奥山市長に提出。復興・医療・教育・経済など多岐にわたる内容で、本市としての復興もいよいよ大詰めです。

### 広域観光連携推進協議会に参加 (10月30日)



山形市で行われた「仙台・福島・山形市議会広域観光連携推進協議会」に参加。地域資源を活かした観光についての講演や、三市の特徴を活かした新たな取り組みなどについて話し合いました。